

伊賀市議会
だより

No.65
2021.5.1



**新体制！
22人でスタート！**

新たな22人の議員を紹介します！ (50音順)



あかほり くみ
赤堀 久実
(51歳・3期目)

- ① 希望ヶ丘東五丁目3番14号
- ② 51-4810
- ③ 皆さまの声に寄り添い『誰もが住みやすい伊賀』を目指して頑張っています。



いちかわ がくと
市川 岳人
(38歳・3期目)

- ① 島ヶ原11295番地の119
- ② 090-8130-4012
- ③ 働く子育て世代の目線を持ち続け、子ども達、地域の幸せな未来を守っていきます！



うえだ のりひさ
上田 宗久
(73歳・4期目)

- ① 大野木1408番地
- ② 21-0715
- ③ 活力ある伊賀市を次世代に!! 「ええやん伊賀市実現のために」全力で取り組んでまいります。



かまい としゆき
釜井 敏行
(39歳・1期目)

- ① 平野東町131番地の3
- ② 23-4838
- ③ みなさんと力をあわせ、人・自然・平和が大切にされる伊賀市をめざしてがんばります。



たなか さとる
田中 覚
(62歳・3期目)

- ① 緑ヶ丘南町4036番地
- ② 24-6661
- ③ 域内経済の立て直し。コロナ禍による景気低迷から一日も早く回復するための政策の提言。



ちかもり まさとし
近森 正利
(54歳・4期目)

- ① 東高倉2233番地の15
- ② 23-8567
- ③ 「大衆とともに」との公明党の精神で市民の皆様の声を市政に反映する為政策を提案し実現へ！



なかおか ひさのり
中岡 久徳
(73歳・6期目)

- ① 市部482番地の7
- ② 37-0105
- ③ 住み続けたい伊賀市づくりに全力で取り組みます。

聞いてく
私たちの

- ①住所
- ②電話番号
- ③抱負



はませ たつお
濱瀬 達雄
(43歳・1期目)

- ① 上野池町1241番地の14
- ② 22-8794
- ③ 子育て世代としては、女性目線の改革。商売人としては、市政をビジネス感覚で改革します。



ふくおか せいこう
福岡 正康
(66歳・2期目)

- ① 中馬野535番地
- ② 46-1460
- ③ 少子高齢化の中、いつまでも住み続けたい街、安心安全な故郷を皆様創っていきましょう。



ますだ たけし
増田 雄
(48歳・1期目)

- ① 上野小玉町3042番地
- ② 21-0532
- ③ コロナ後の新時代を子供たちに繋ぐ活気あふれる伊賀市にして行きたいと思っております。



みやざき えいき
宮崎 栄樹
(36歳・2期目)

- ① 阿保821番地
- ② 080-3676-2255
- ③ 多様性と持続可能性を大切に、地域の潜在資源を生かす「まちづくり」を進めます。



かわかみ よしひで
川上 善幸
(58歳・2期目)

- ①玉瀧7466番地の16
- ②090-2186-8265
- ③人口増加施策を推進し、ムダを省いて税収の確保と生活交通を充実させ地域に活力を促す。



きたもり とおる
北森 徹
(49歳・2期目)

- ①平野東町50番地
- ②21-1792
- ③市民目線で、市民の声を市政に届けて市民の声と想いで伊賀市の未来を創る。



きたやま たかし
北山 太加視
(65歳・1期目)

- ①印代191番地
- ②23-3696
- ③地域の互助を大切にして、防災・医療・教育・人権・社会基盤の充実を目指します。



さいじょう えりこ
西條 エリ子
(59歳・1期目)

- ①波敷野129番地
- ②43-1236
- ③「和をもって尊しとなす」の精神でしなやかでゆるぎなく市政へ女性の声を届けたい!



なかにん かずひこ
中谷 一彦
(65歳・4期目)

- ①桐ヶ丘八丁目161番地
- ②52-2207
- ③地域課題の解決をはじめ、財政のムダをなくし、皆様が住み続けたいと思える伊賀市に!



にしぐち かずしげ
西口 和成
(40歳・2期目)

- ①緑ヶ丘本町1681番地の10
- ②24-1800
- ③誇りある郷土を未来へつなぐため現場主義、対話を大切に市政に届ける懸け橋になりたい。



にしだ みちかず
西田 方計
(58歳・1期目)

- ①小杉33番地
- ②45-4861
- ③郷土の未来のために、私に与えていただいた職責をしっかりと全うする決意です。



ももい ひろこ
桃井 弘子
(43歳・2期目)

- ①畑村186番地
- ②47-0231
- ③一期目で学んだ事を更に積み上げていき市民の声を届け市民の安心・安全を守る議員になります。



ももがみ まな
百上 真奈
(61歳・4期目)

- ①長田2004番地
- ②24-2850
- ③市民の声を市政に届け、みなさんと力を合わせて住民本位の市政実現へがんばります。



もりなか ひであき
森中 秀哲
(58歳・1期目)

- ①小田町116番地
- ②080-9267-1715
- ③10年後もみんながおだやかに暮らせる伊賀市を目指して話し合い、政策を実行します。



やました のりこ
山下 典子
(59歳・2期目)

- ①中柘植146番地
- ②090-8323-9222
- ③生活者目線で勤労者、生活者、社会的弱者の生活向上と市政改革に取り組みます。

**ださい！
抱負**
令和3年4月1日現在

●令和3年4月臨時会●

市議会の新しい体制が決まりました

副議長



あかほり くみ
赤堀 久実

議長



いちかわ がくと
市川 岳人

監査委員



かわかみ よしひで
川上 善幸

議長・副議長 あいさつ

このたび、4月の臨時会におきまして、議長・副議長に就任いたしました。
終わりの見えないコロナ禍にあって、市内経済の冷え込みは激しく大幅な税収減が見込まれています。
このような中、本市においても「様々な経済対策」や「新型コロナウイルスワクチン接種推進」に加え、基本施策である「こども・くらし・にぎわい。」を進めるため、議会の担う役割も大きなものとなっています。
議会におきましては、広聴機能充実のため、自治協単位で地域課題についての意見交換会開催や市長選と市議選の同日実施の議論開始、予算・決算審査の充実と意思決定のスピード化に努めたいと考えています。
今後4年間、皆さまのご期待に添えるよう22名で「市民に開かれた、信頼される議会」をめざし、不断の議会改革に取り組んでまいりますので、ご理解とご協力を賜りますようお願いいたします。

◎…委員長 ○…副委員長

予算・決算常任委員会

予 算

予算及びこれに関する事項を所管

◎赤堀 久実 ○中谷 一彦
委員は議長を除く21議員

決 算

決算及びこれに関する事項を所管

◎赤堀 久実 ○中谷 一彦
委員は議長と監査委員を除く20議員

議会運営委員会



議会を円滑・能率的に行うため、日程や審議内容を審査

◎中岡 久徳
○西口 和成
福岡 正康
宮崎 栄樹
山下 典子
中谷 一彦

その他組合等議会



伊賀南部環境衛生組合

青山地域と名張市のごみ処理、し尿処理施設の管理運営に関する事項を審議

西田 方計 宮崎 栄樹
赤堀 久実 中谷 一彦



三重県後期高齢者医療広域連合

三重県内の後期高齢者医療制度の運営に関する事項を審議

市川 岳人

常任委員会委員

◎…委員長 ○…副委員長

※議長は、常任委員会には所属しません。

総務常任委員会



総務部、企画振興部、財務部、人権生活環境部、デジタル自治推進部、総合危機管理課、出納室などの事項、その他の委員会に属さない事項を所管

◎中谷 一彦 ○北森 徹
森中 秀哲 山下 典子 上田 宗久 百上 真奈 中岡 久徳

教育民生常任委員会



健康福祉部、上野総合市民病院、教育委員会の事項を所管

◎福岡 正康 ○桃井 弘子
釜井 敏行 北山太加視 西田 方計 西口 和成 赤堀 久実

産業建設常任委員会



産業振興部、建設部、消防本部、上下水道部などの事項を所管

◎近森 正利 ○宮崎 栄樹
西條エリ子 濱瀬 達雄 増田 雄 川上 善幸 田中 覚

伊賀市議会 会派一覧

政策を中心とした同一理念を共有する2人以上の議員で構成し活動するグループとして会派が存在します。すべての議員が会派に属しているわけではありません。

(令和3年4月14日現在)

会派名 (50音順)	結成の目的	所属議員 ◎は代表者
草の根・無所属フォーラム	多様性、持続可能性、平和を大切にすまちづくりを目指す	◎宮崎栄樹 西田方計 森中秀哲
公明党	結党以来のスローガン「大衆とともに」をモットーに、政治を庶民の手に取り戻し、庶民を守り、地域住民に寄りそい働くため	◎中谷一彦 赤堀久実 近森正利
自民伊賀	・議会改革 ・地域のにぎわい活性化	◎中岡久徳 増田 雄
市民会派いがラボ	市民目線での政策提言	◎桃井弘子 濱瀬達雄 山下典子
自民絆	未来に対する責任ある政策提言を行い、もって安心・安全・持続可能な伊賀市を目指す	◎西條エリ子 (市川岳人)
日本共産党伊賀市議団	市民のいのちと暮らしを守る防波堤としての役割を果たしよりよい伊賀市政実現のため、積極的に提案をおこなう	◎百上真奈 釜井敏行
明政クラブ	コロナを見据えた伊賀市の創生	◎川上善幸 北森 徹 西口和成 福岡正康 上田宗久
会派に所属していない議員		北山太加視 田中 覚

※議長は会派に属さないことになっているため、() で表示しています。

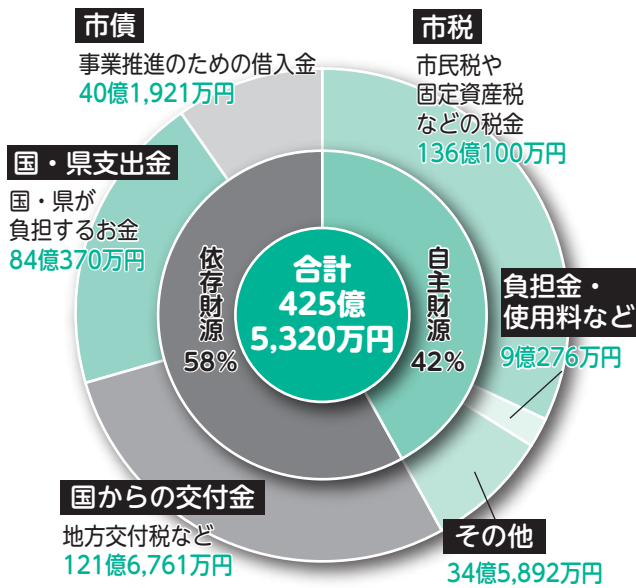
令和3年度一般会計予算

「こども、暮らし、にぎわい。」の3つの視
「市民の生命や暮

予算議案は、議長を除く全議員で構成する予算常任委員会に

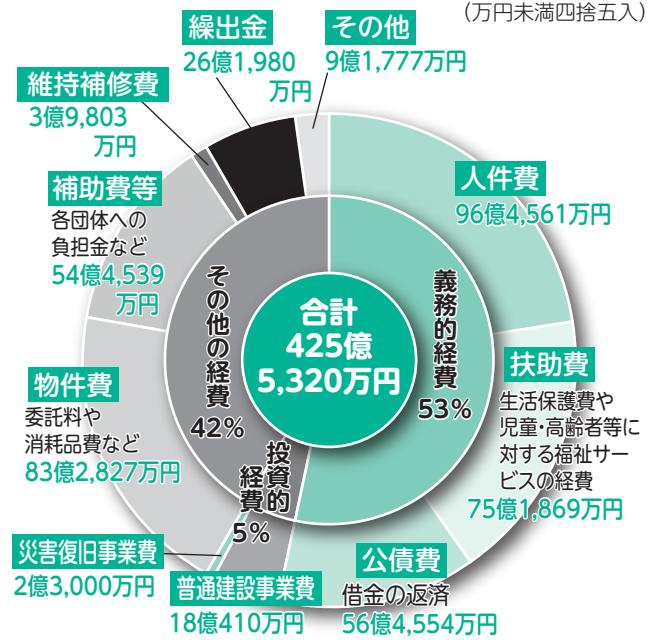
一般会計歳入予算の内訳

(万円未満四捨五入)



一般会計歳出予算の内訳

(万円未満四捨五入)



「こども、暮らし、にぎわい。」予算の主な事業

こども

- ファミリーサポートセンター運営事業 1,164 千円
 - 病児保育事業 11,547 千円
 - 子育てのための施設等利用給付事業費 10,750 千円
 - 母子健康診査事業 70,261 千円
 - 不妊治療等助成事業 3,765 千円
- など



暮らし

- 新型コロナウイルスワクチン接種事業 402,647 千円
 - 救急医療事業 (病院群輪番維持確保対策負担金ほか) 64,057 千円
 - 防災情報システム導入業務 59,400 千円
 - 市単消防施設整備事業 (救急車両更新費ほか) 58,182 千円
 - 地域福祉推進事業 (日常生活自立支援事業補助金ほか) 7,622 千円
- など



にぎわい

- 忍者市プロジェクト事業 25,446 千円
 - 観光地域づくり支援事業 (DMO 形成支援負担金ほか) 26,421 千円
 - 公園施設更新事業 (上野公園園路整備、上野運動公園整備ほか) 72,429 千円
 - 中心市街地等商店街活性化事業 3,000 千円
 - 伊賀ブランド促進事業 8,908 千円
- など



425億5,320万円を可決

点で編成された予算

らしを守るための予算」となっているか!?

付託され、3月2日、3日の2日間にわたって審査を行いました。

用語解説

- 自主財源** 市税、使用料、手数料、財産収入など市が自主的に調達できる財源です。
- 依存財源** 国や県の基準に基づき交付されたり、割り当てられたりする財源です。
- 義務的経費** 支出が法令などで義務付けられていて、任意に削減できない経費です。
- 投資的経費** 道路、橋梁、学校、公園等各種社会資本整備に要するものであり、支出の効果が長期にわたる経費です。

令和3年度一般会計

- 当初予算総額は? **425億5,320万円**
- 今年度の借金(市債)は? **40億1,921万円**
- 今年度の借金(市債)の償還額は? **約53億6,518万円**
(元金のみ)
- 令和3年末の借金残高(市債残高)の見込み額は?
約535億円
(市民一人あたり換算で**60万円**)
- 令和3年度末の預金残高(基金残高)見込み額は?
約131億円
(市民一人あたり換算で**15万円**)

※伊賀市の人口(住民基本台帳)89,771人(令和2年12月31日現在)

一般会計予算にかかる質疑(委員会)

文化施設改修事業

- 問** 青山讃頌舎施設改修工事費の詳細は。
- 答** 現在、露出展示となっている展示室にガラスを設置する工事費約2,000万円、展示室と茶室の間にある塀の工事費約350万円、合計2,357万円を計上しています。

ケーブルテレビ維持管理費等負担軽減経費

- 問** 令和2年度より予算額が激減している理由は。
- 答** 令和2年度、NHK受信料の減免と同様の基準に見直し、対象であった65歳以上の約1,200世帯が対象外となりました。新制度では約200世帯の方が対象となります。

観光地域づくり支援事業

- 問** 伊賀上野NINJAフェスタはいつ行われるのか。またウィズコロナ、アフターコロナを見据えたフェスタを考えているか。
- 答** 春のフェスタは中止とし、新しい形で秋の開催に向けて取り組んでいきます。それとは別に、集客するイベントではなく、観光客がアプリを活用し、まちを巡っていただけるウィズコロナに合った取り組みも進めていきます。

交通安全施設維持修繕経費

- 問** 県は令和3年度に3倍の予算を確保し、区画線(白線)の塗り直し工事を進めていくようだが、市の予定は。
- 答** 消えているセンターラインを重視して工事を進めます。今年度は延長約2kmを施工する予定です。

消防費

- 問** 火災、救急に、1分でも早く駆け付ける、1分でも早く病院に搬送していただくことが大事であるが、指標はあるか。
- 答** 令和2年度、現場への到着時間等を短縮するため、通報者の発信地が特定できる地図表示システムを装備しました。現状はコロナ禍で電話の聴き取り時間が増えており、現場への到着時間は変わっていませんが、今後は中身を検証し、少しでも時間短縮できるよう努めます。

学校施設整備事業

- 問** 新型コロナウイルス感染予防対策として、各小中学校のトイレの洋式化、乾式化の改修を前倒しで進めていくべきでは。
- 答** 各小中学校のトイレの洋式と和式の比率は半々となっており、洋式化を計画的に進めていきます。

討論(本会議)

賛成

青山讃頌舎施設改修工事については、市民の声が、反映されたしっかりとした計画のもとで進めてほしい。

反対

「コロナの先の未来・元気づくり予算」とのことであるが、コロナ禍で今の暮らしに苦しむ市民や小規模事業者などを支える施策は十分なのか。また、同和関連予算の見直し、医療・介護施設等での定期的なPCR検査、小中学校のトイレ改修の前倒し、保育士の処遇改善などが盛り込まれていない。さらに、青山複合施設の建設工事費は、支所や公民館の廃止、図書室機能縮小を前提としたものであり認められない。

伊賀市行政組織条例等の一部改正

全員賛成で
可決

（※）DXによる住民サービスの向上とスマート自治体の構築に向け、市長直轄の組織として「デジタル自治推進局」を設置します（令和3年4月設置）

※DX（デジタルトランスフォーメーション）：デジタル技術を活用して行政サービスを変革すること

質疑（委員会）

問 名称はなぜ「部」ではなく「局」にしたのか。

答 デジタル化の推進に取り組む姿勢を示したいという思いや、すべての部署を統括して進めたいという考えから「局」としました。

討論（委員会）

賛成

市長直轄部署とする熱意はよいと思う。名称よりも中身を重視し、市民サービス向上に徹することを期待する。

財産の無償譲渡（旧阿山支所庁舎等）

全員賛成で
可決

旧阿山支所庁舎等を「社会福祉法人あやまユートピア」へ無償譲渡します

質疑（委員会）

問 20年後に土地が返却される場合の建物の取り扱いは。

答 20年後の契約更新は、協議により決めることになっていますが、更新をしない場合は、建物を解体し、土地を返却してもらう契約を考えています。



イメージバース（提案書から抜粋）

伊賀市国民健康保険税条例の一部改正

賛成多数で
可決

国民健康保険税を引き上げます（令和3年度から）

令和3年度は、現行の制度と比較して平均1人当たり約6,700円引き上げます（令和4年度も引き上げ予定）

質疑（委員会）

問 国や県からの支援や補填制度は活用できるか。

答 医療費補填の交付金はありますが、目的以外の事業には充当できません。

問 来年度、県への納付金は下がると聞いているが、それでも保険税の引き上げが必要か。

答 財源が不足する中、現在の事業を継続していくためにも、被保険者の方にご負担をお願いせざるを得ない状況です。

問 一般会計から国民健康保険事業特別会計へ繰り入れは可能か。

答 伊賀市は県内でも保険税が低く、現段階では被保険者の方で負担いただくことをお願いしたいです。

討論（委員会）

反対

国民健康保険加入者の多くは、小規模事業者や非正規労働者、年金生活者であり、コロナ禍での厳しい生活状況の中でさらに負担が増えると考えます。

伊賀市介護保険条例の一部改正

全員賛成で
可決

介護保険料の第7段階、第8段階及び第9段階の算定基礎となる基準所得金額を見直します

第1号被保険者所得段階別年間保険料（本人が市民税課税者の場合）

段階	保険料（年額）	改正前	改正後
第7段階	97,864円	前年の合計所得金額が125万円以上200万円未満の人	125万円以上210万円未満の人
第8段階	117,437円	前年の合計所得金額が200万円以上300万円未満の人	210万円以上320万円未満の人
第9段階	133,095円	前年の合計所得金額が300万円以上500万円未満の人	320万円以上500万円未満の人

伊賀市水道事業給水条例の一部改正

全員賛成で
可決

コロナ禍の経済的影響で令和2年度の使用水量が減少し、効果の検証が十分にできていないため、水道大口需要者に係る従量料金の特例を、令和4年3月31日まで1年間延長します

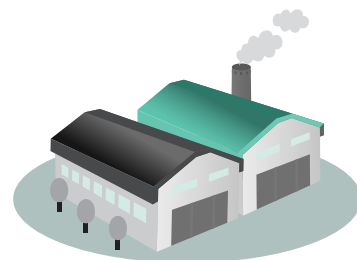
質疑（委員会）

問 水道を使うほど単価が上がる現在の料金体系についてどのように考えるか。

答 今回は大口需要者の特例規定の期間を延長するものですが、今後は料金全般の見直しを検討していきます。

問 産業支援の観点を踏まえた料金体系や特例制度になっているか。

答 今回の特例が延長されれば、その実績を参考に、他市の工業用水等の料金も比較しながら制度設計をしていきます。



令和3年度一般会計補正予算

全員賛成で
可決

●補正予算（第1号） 3億5,788万1,000円の増

国の3次補正予算に伴う、新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金の増額による追加対策
【主な内容】

○新型コロナウイルス感染症対策事業者応援給付金 2億円

新型コロナウイルス感染症の影響を受け、売上高が減少した事業者等に対する事業継続支援のための給付金

○プレミアム付食事券事業補助金 7,654万5,000円
【商工】

新型コロナウイルス感染症により、大きな被害を受けた飲食業者を支援するため、伊賀市プレミアム付食事券を発行するための補助金

【観光】 500万円

市内の観光需要の喚起を図るため、宿泊者等にプレミアム付き食事券を先着順でプレゼントする補助金

日本政府に「核兵器禁止条約への署名と批准を求める意見書」の提出を求めること

請願者 原水爆禁止伊賀市協議会 事務局長 森永勝二
紹介議員 百上真奈

討論（委員会）

反対 安全保障をどのように保っていくかを議論することが大事であり、今の段階ですぐにアメリカの核の傘から抜け出すということはできないと考える。

討論（本会議）

賛成 被爆国の日本が禁止条約の参加に踏み出せば世界の高い信頼を得ることになり、核兵器廃絶の流れに大きな勢いを与える。

審議した議案と各議員の賛否

○印は賛成、×印は反対。なお、近森議員は議長のため採決に入っていません。

件名	賛成・反対	議決結果	川上	北森	信田	西口	福村	宮崎	桃井	山下	市川	赤堀	嶋岡	田中	生中	上田	近森	中谷	百上	北出	空森	岩田	安本	中岡		
			善幸	徹	利樹	和成	教親	栄樹	弘子	典子	岳人	久美	壯吉	覚	正嗣	宗久	正利	一彦	真奈	忠良	栄幸	佐俊	栄子	久徳		
請願	3:18	不採択	×	×	×	×	×	○	×	○	×	×	×	×	×	×	—	×	○	×	×	×	×	×		
市長 提出議案	令和3年度伊賀市一般会計予算	20:1	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—	○	×	○	○	○	○	○		
	令和3年度伊賀市国民健康保険事業特別会計予算	19:2	可決	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	—	○	×	○	○	○	○	○		
	令和3年度伊賀市後期高齢者医療特別会計予算	20:1	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—	○	×	○	○	○	○	○		
	伊賀市国民健康保険条例の一部改正	18:3	可決	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	—	×	×	○	○	○	○	○		
	工事請負契約の締結	20:1	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—	○	×	○	○	○	○	○		
伊賀市指定地域密着型サービスの事業の人員、設備及び運営に関する基準を定める条例等の一部改正	20:1	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—	○	×	○	○	○	○	○			
全員賛成（同意・承認を含む）で可決した議案																										
市長 提出議案	<ul style="list-style-type: none"> 令和3年度伊賀市住宅新築資金等貸付特別会計予算 令和3年度伊賀市介護保険事業特別会計予算 令和3年度伊賀市病院事業会計予算 令和3年度伊賀市下水道事業会計予算 令和3年度伊賀市大山田財産区特別会計予算 令和2年度伊賀市国民健康保険事業特別会計補正予算（第5号） 令和2年度伊賀市駐車場事業特別会計補正予算（第2号） 令和2年度伊賀市サービスエリア特別会計補正予算（第1号） 令和2年度伊賀市病院事業会計補正予算（第3号） 令和2年度伊賀市下水道事業会計補正予算（第2号） 令和2年度伊賀市大山田財産区特別会計補正予算（第1号） 伊賀市行政組織条例等の一部改正 伊賀市国民健康保険診療所条例の一部改正 伊賀市水道事業給水条例の一部改正 財産の無償譲渡（旧阿山支所庁舎等） 辺地に係る総合整備計画の策定 伊賀市職員の特殊勤務手当に関する条例の一部改正 伊賀市介護保険条例の一部改正 令和2年度伊賀市一般会計補正予算（第11号） 人権擁護委員候補者の推薦（今井 和子氏、木根 正雄氏） 													<ul style="list-style-type: none"> 令和3年度伊賀市駐車場事業特別会計予算 令和3年度伊賀市サービスエリア特別会計予算 令和3年度伊賀市水道事業会計予算 令和3年度伊賀市島ヶ原財産区特別会計予算 令和2年度伊賀市一般会計補正予算（第10号） 令和2年度伊賀市住宅新築資金等貸付特別会計補正予算（第2号） 令和2年度伊賀市介護保険事業特別会計補正予算（第3号） 令和2年度伊賀市後期高齢者医療特別会計補正予算（第2号） 令和2年度伊賀市水道事業会計補正予算（第3号） 平成2年度伊賀市島ヶ原財産区特別会計補正予算（第1号） 伊賀市農林関係土木事業分担金徴収条例の全部改正 伊賀市ふるさと応援基金の設置、管理及び処分に関する条例の一部改正 伊賀市建築基準法等関係手数料条例の一部改正 財産の無償譲渡（寺田公民館） 指定管理者の指定（上野運動公園多目的グラウンド） 専決処分の承認（令和2年度伊賀市一般会計補正予算第9号） 伊賀市国民健康保険条例の一部改正 令和3年度伊賀市一般会計補正予算（第1号） 教育長の任命（谷口 修一氏） 												
	議員 提出議案	<ul style="list-style-type: none"> 伊賀市議会委員会条例の一部改正 																								

第2回臨時会（4/14）

○印は賛成、除は除斥。なお、市川議員は議長のため採決に入っていません。

件名	賛成・反対	議決結果	釜井	北山	西條	西田	濱瀬	増田	森中	川上	北森	西口	福岡	宮崎	桃井	山下	市川	赤堀	田中	上田	近森	中谷	百上	中岡
			敏行	太加	エリ子	方計	達雄	雄	秀哲	善幸	徹	和成	正康	栄樹	弘子	典子	岳人	久美	覚	宗久	正利	一彦	真奈	久徳
市長 提出議案	令和3年度伊賀市一般会計補正予算(第2号)	21:0	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—	○	○	○	○	○	○	○
	専決処分の承認(市税条例等の一部を改正する条例)	21:0	承認	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—	○	○	○	○	○	○	○
	監査委員の選任	20:0	同意	○	○	○	○	○	○	除	○	○	○	○	○	○	—	○	○	○	○	○	○	○



百上 真奈 議員

質問項目

- 市営住宅の駐車場管理
- 公共事業による建設発生土の処分
- 新型コロナウイルス感染症対策



問 「闇のようなもの」とは何ですか

市営住宅駐車場管理に関する聞き取り調査で、当時の会計者が通帳の写しや3枚の決算書を提出し、内2枚が虚偽のもので、市に提出した平成29年度決算書は虚偽のものと言われています。これを認めますか。

市長がこの問題について言われた「闇のようなもの」とは何ですか。

答 従前にあったすべてが解明されたいものです

市に提出された決算書は1通ですが、調査の段階で書類が出てきたことは否定しません。それを決算書として見るか認識の違

いです。(部長)

長時間かけて調査し検討して結論を出しましたが、それでもすべてが解明されがたいものがあったということです。より良い方向にもっていくために議員がこの課題を提起されたと理解しています。みなさんと共に改める所は改めていくことができなければ、闇に光をあてることは難しいと考えています。(市長)

赤堀 久実 議員

質問項目

- 「地域共生社会」の実現に向けての取り組み
- コロナ禍での認知症・介護予防の取り組み
- 介護施設等の感染症予防の環境整備



問 介護施設等への支援を

介護施設などで、従事者の方が濃厚接触者となった場合、PCR検査の結果が出るまで待機が必要ですが、他の人と接触しない環境が作れない方がいます。市はそういう方々の受け皿として空き家や公共施設などを提供する考えは。

答 対応していきます

社会福祉法人連絡会と空き家を購入された社会福祉法人とが利用に向けて協議していただくとともに、市としても今後感染が拡大するおそれがある場合は公共施設の利用も考えて、課題解決に向けての検討を進めていきます。

問 フレイル予防の対策を

コロナ禍で人と人との関わりが希薄になり、(*)フレイルが進んでいる高齢の方が増えています。予防のための支援は。

答 強化していきます

現在、DVDなどを活用してフレイル予防を行っています。今後は、健康マイレージ事業を拡大して、多くの方々に参加していただき、健康増進につなげていきます。



※フレイル:加齢に伴い身体能力が低下し、健康障害を起こしやすくなった状態

岩田 佐俊 議員

質問項目

- 山神橋の復旧工事
- 市民からの要望・意見の取り扱い



問 早期の復旧を願う

山神橋の崩落から4年が経過して、ようやく川の流れを変えたり、現場へ降りる道を付けたりと、目に見える工事に着手しましたが、今後の工事日程はどのように進捗するのですか。

答 計画に従って進めていきます

山神橋ですが、令和2年度から国の道路メンテナンス事業として事業採択を受け、更新事業に着手しています。

令和2年度事業は測量、地質調査、橋梁予備設計、撤去設計および落橋部の橋梁撤去工事を実施しています。また橋梁予備設計では、より経済的な橋梁形式を選定中で

す。今後の工事スケジュールですが、令和3年度は、橋梁の詳細設計を主に進め、令和4年度から残りの橋梁撤去工事を実施し、下部工事、上部工事と順次進める計画としています。事業期間は、令和2年度から令和10年度の約9年間を予定しています。

一般質問

山下 典子 議員

質問項目

- 医療政策
- 保育士の処遇等の改善
- 鉄道の利便性向上
- 鳥獣害対策



問 マイナンバーカードの健康保険証利用の取組状況は

令和3年3月にマイナンバーカードが健康保険証として利用できるようになることから、公立病院についてはオンライン資格確認ができる体制を整えるよう、総務省から要請が出ていると聞いています。上野総合市民病院における取組状況は。

答 令和3年3月中に導入します

国、県からの強い要請があり令和2年度中の導入に向け準備を進めました。

問 上野総合市民病院の病床の使用率は

答 前年度と比べて10ポイント以上低くなっています

上野総合市民病院の稼働している病床は234床ですが、令和2年度は約73%の使用率です。昨年度まで3年間の平均使用率は約85%だったので10ポイント以上低くなっています。

問 医療従事者のサポートは

答 サポートします

毎朝職員の体調をチェックするなど感染に対する不安をとり除き、モチベーションの維持に努めます。

上田 宗久 議員

質問項目

- 新型コロナウイルスワクチン接種の取り組み
- 花垣地内で発生した豚熱の対応



問 新型コロナワクチン接種はいつから始まりますか

答 医療従事者を対象に3月から接種開始を予定しています

県内の国立病院機構では、まもなく医療従事者に対する接種が始まります。その後、伊賀市を含めた三重県内の医療従事者に対する接種が3月に開始される予定です。

問 高齢者の不安に対する対応は

65歳以上の高齢者の接種対象者は約3万人となっていますが、予診にかかる時間や接種後の副反応について、ご心配の声が多く聞かれますが、そのことに対する目安などがあれば教えてください。

答 個別接種と集団接種を併用したいと考えています

ワクチン接種についての最新情報を広く市民の皆さんにお知らせし、その中で不安や疑問のある方につきましては、かかりつけのお医者さんにご相談の上、接種していただきたいと思います。医師会の先生方のご協力を得て、かかりつけのお医者さんで接種できる個別接種を行いながら、集団接種も行っていく予定です。

福村 教親 議員

質問項目

- コロナ禍での医療の現状と今後
- コロナ禍での教育の現状と今後



問 コロナ感染症への不安から受診を控えている市民に対しての対応は

答 不安を感じて先送りすることなく受診をお願いします

上野総合市民病院では、全ての来院者にマスク着用・手指消毒・検温を徹底し、発熱症状の方には事前連絡をお願いしています。他の患者とは診察室も、そこに至る導線も重ならないようにしています。

受診を控えることによる健康リスクが大きいので受診をお願いします。

問 子どもたちの学校での様子は

答 各校とも授業の遅れはありません

授業では、暖房をしながら換気も行ってきている状態ですが、服装等に配慮しながら取り組んでいます。

問 感染者への偏見・イジメは

答 ありません

市内8校で感染者が出ましたが、学校内での感染者へのイジメの報告は受けていません。

問 教職員の仕事量の増加への対応は

答 教職員の負担軽減を行っています

スクールサポートスタッフ及び学習指導員を市内小中学校にそれぞれ48名配置しています。

一般質問

田中 覚 議員

質問項目

- コロナ禍における施政及び予算編成方針



問 特化した農業支援や再開発への誘導を

川上ダムの完成が令和5年3月と示され、国や県は河床掘削や堤防の強化に努めています。過去の洪水経験から、ダムの完成や河川工事により上野遊水地の越流堤を越える可能性は少なくなると思いますが、間違いはないですか。ならば、広大な優良農地が確保でき、同時に囲い堤の外側は優良な住宅地や産業用地となるのではないですか。

答 販路を拡大していきたいです

ダム完成により、越流の可能性はかなり少なくなると考えています。大阪を洪水か

ら守っている遊水地であることを理解してもらい、また伊賀市未来の山づくり協議会等を通じて遊水地の米を下流域に販路を拡大していきたいと思えます。

問 認定こども園の導入は

市街地の保育サービスのニーズが高まる中、認定こども園の導入を考えるべきではないですか。

答 検討します

市街地にある保育園への入所希望や待機児童が多い中、桃青の丘幼稚園を認定こども園にすることを視野に入れて検討します。

嶋岡 壮吉 議員

質問項目

- 不動産取引における災害リスク
- 再生可能エネルギー発電設備設置による自然環境への影響
- 老朽化した道路橋の修繕



問 再生可能エネルギー発電設備設置による自然環境への影響に対する対応は

答 環境に悪影響がある場合、厳しく指導します

現在、太陽光発電設備の設置が要因で、自然環境破壊を招いている事件が全国的に発生しており、問題視されています。

太陽光発電設備を設置する場合、市や県は、自然環境の保護に努めるよう適切に指導を行っています。環境に悪影響を及ぼす行為が発覚すれば、発電事業の許可をしている経済産業省と連携し、事業者へ厳しく改善指導を行っています。

また現在国では、自然環境への影響が懸念される発電終了後の設備の未撤去事案について、2022年度に施行予定の「エネルギー供給強靱化法」において、発電収入の一部を撤去費用として積み立てることを義務化するなどの対策を検討しています。

中谷 一彦 議員

質問項目

- 一般廃棄物処理実施計画
- 青山工業団地周辺の環境整備
- 支所、地域振興センター、地区市民センターの今後



問 青山地域のサービス格差の現状は

青山地域の住民は、福祉収集や容器包装プラスチック収集など伊賀市民でありながら、別のサービスを受けています。今後の考え方を説明してください。

答 青山地域の自治協の方々と連携しながら是正していきます

北部エリアと同様なサービスを受けられるよう、伊賀南部環境衛生組合に働きかけをしていきます。青山地域だけが利便性の欠けることがあってはなりません。ゴミ処理だけでなく、他の地域より高いし尿料金や警察の関係など現状は差異があるので、青山地域の自治協の方々と連携しながら、

県へ管轄変更等をお願いしていきます。

問 伊賀南部グリーンセンターの操業期限 2024年2月以降の方向性は

答 協議を進めます

将来的に伊賀市はごみの広域処理を方針としています。名張市がごみ処理をどのようにするのか聞かせていただくことから進めていきます。

一般質問

川上 善幸 議員

質問項目

- フレイルに関する事業
- 福祉有償運送の課題
- ワクチン接種



問 フレイル予防対策の事業は

フレイルとは虚弱状態であり、健康な状態から介護状態になるまでの中間をいいますが、予防対策の事業は。

答 運動紹介チラシやDVDを作成しています

介護予防リーダーの養成や組織化を進めており、保健師がいきいきサロンや老人クラブへ出向き、運動紹介チラシやDVDを活用してフレイル予防を啓発しています。

問 福祉有償運送の課題を把握していますか

人、物、お金、制度それぞれ課題はありますが、事業者、運転者が高齢化してお

り、急遽送迎サービスができなくなる現実があります。セーフティネット制度の今後のお考えは。

答 課題把握していますが事業者の皆さんの知恵を借りたいです

事業者が急に送迎できなくなることも考えられます。一番困るのは利用者の方なので、事業者の皆さんにも知恵を拝借し、セーフティネットの制度については今後話し合いをさせていただきたいと考えています。

安本 美栄子 議員

質問項目

- 旧岸宏子宅の利活用についての進捗状況
- 「自治センター化」に向けての手法



問 故岸宏子氏宅の利活用についての今後は

答 まずは駐車場の確保から取り組みます

市民ワークショップでの意見を基に、活用案を検討してきましたが、立地条件、運営主体等課題もあり実施段階に至っていません。どの活用案においても駐車場が課題となっていますので、まずは駐車場確保の具体化を考えています。

問 地区市民センターに行政の窓口機能を（総合的行政改革）

「自治センター化」と「支所廃止」問題は一体的に考えるべきです。そこで定期

間地区市民センターに行政機能（窓口業務）を設置し、その後、自治センター化への選択を進めてはいかがですか。

答 自治協の自主・自立性を阻害しない体制の構築が望ましいです

地区市民センターの行政窓口強化には正規職員の配置が必要ですが、職員配置は地域の行政依存を強めてきた経緯があります。自治センター化のためには、センターで行う行政事務負担を少なくし自治協の自主・自立性を阻害しない体制の構築が望ましいです。

宮崎 栄樹 議員

質問項目

- 市民意見を反映させる新たな「しくみ」
- 戦略的な企業誘致と雇用創出
- 水道技術職員の増員と今後の人材育成



問 IT 関連企業のサテライトオフィス誘致による雇用創出を

若年層で不足している事務系の職種をつくるため、IT関連企業のサテライトオフィスの誘致を提案します。（※）エリアマネジメントの視点による、古民家や空き家を活用したサテライトオフィス誘致について、今後の方針をお伺いします。

答 取り組みます

古民家を活用したサテライトオフィスの誘致は、地域の活性化、新しい雇用や産業の創出に繋がります。早期の実現に向けて、庁内で連携しスピード感を持って取り組みます。

問 水道技術職員の確保と人材育成を

上下水道部は、労働基準監督署からは正勧告(限度時間を超えて時間外労働を行わせているという労働基準法違反等)を繰り返し受けています。このような事態をどう受け止めていますか。

答 体制強化します

誠に遺憾に感じています。改善に向けて人員確保に取り組み、体制を強化していきます。

※エリアマネジメント：特定のエリアを単位に、民間が主体となって、まちづくりや地域経営(マネジメント)を積極的に行おうという取り組み

一般質問

信田 利樹 議員

質問項目

- 現在施工中の都市計画道路と「南平野木興線」の工事予定



問 都市計画道路「南平野木興線」の着手準備は出来ていますか

2017年6月議会で都市計画道路「南平野木興線」について質問を行った際、令和6年から着手との回答を頂いていますが予定通り着手の準備は出来ていますか。

答 調査を行っています

事業着手に向け土地所有者や建物等移転物件の把握調査を行っています。

問 どのように協力を求めますか

このような事業には地元や地域の方々の協力が必要だと思いますが、どのように協力を求めていますか。

答 住民自治協議会等と連携します

事業を進める上では、地域の皆さんの協力や土地所有者の方のご理解が必要です。用地や建物の補償等のご協力がいただけない場合には、事業着手は難しいと考えます。よって住民自治協議会や期成同盟会と連携して、事業への理解に努めていきたいと考えています。

生中 正嗣 議員

質問項目

- 支所のあり方



問 支所のあり方についてのご所見は

施政方針で述べられた支所のあり方について具体的に教えてください。

答 自治体として一体化、効率化を進める必要があります

6市町村は合併して何を指してきたのか、支所を設置していることにより特定の地域へのサービスが提供できる一方で、市全体としては公平性に欠けると言わざるを得ません。合併後16年が経過し、様々な合併の特例が期限を迎え、支所に代わる最終的な形について市民から幅広くご意見をお聞きし、機能の見直しについて考えていきたいです。

問 計画どおり実施しますか

支所に代わる（仮）地域振興センターを予定どおり来年4月に設置されますか。

答 その方向で進めたいと考えます

施策、政策は一定の着地点を見つけなければ進めません。今、意見を集める新しいツールがたくさんあり、多くの方の意見を担保しながら進めたいと考えます。これは市民のための政策であると思っています。

桃井 弘子 議員

質問項目

- （仮称）ウインドパーク布引北風力発電事業
- 支所のあり方



問 地区市民センターに、一定期間、職員を配置すべきではないですか

16年間、自治協支援を放置していたのは行政の怠慢ではないですか。支所を残して欲しいという声をたくさん聞いています。地域の高齢化や住民自治協議会の担い手不足が問題となっている今こそ、崩壊しかけている自治の基盤を立て直す意味でも、一定期間、地区市民センターにしっかりと職員を配置し、地域の住民に寄り添って支援していくべきではないですか。

答 自治協と市はパートナーです

独善的に進めるなというご意見を受け止

め、自治協や市民の意見を聞きながら進めたいです。自治協が名実ともに地域づくりの主体となるよう支援の仕方、仕組みづくりを検討する必要があると考えます。

問 アンケートを取りますか

支所のあり方について、一度全職員にアンケートを行ってはどうか。

答 貴重なご意見と受け止め、行いたいと考えます



教育民生常任委員会

伊賀市民生委員児童委員連合会

1月21日(木) 阿山保健福祉センター

教育民生常任委員会が伊賀市民生委員児童委員連合会と「民生委員・児童委員の人材確保などについて」というテーマで出前講座を開催しました。

現在連合会が抱える以下の課題などについて話し合われました。

- 民生委員・児童委員が240名中11名、主任児童委員が31名中27名が年齢制限の規定を超えて就任しており高齢化が進んでいる。
- 連合会の主要な会議に行政もメンバーとして入っているが、課題解決に向けた前向きな協議が進まない。
- 災害時の支援や、平常時の見守り活動をするためには、避難行動要支援者の個人情報が必要であるが、個人情報提供に同意された45%の情報しか提供されない。



参加議員からは、活動する中でご自身で判断して解決されることも多く、そのことが負担になられていると思う。判断に迷う時は、行政や地域の専門機関へのつなぎ役となり、少しでも負担軽減することを検討いただきたい旨を伝えました。

今回は、議員間で課題を共有し、今後も民生委員・児童委員の皆さんと一緒に問題解決に向けて取り組む必要があると考える出前講座でした。

YouTube による「伊賀市議会チャンネル」を開設しました

市政の関心を深めていただけるよう、市民の皆さんへの情報提供媒体として、新しく YouTube に「伊賀市議会チャンネル」を設け、議会審議・審査等の状況をこれまでより充実した内容で配信します。ぜひご覧ください。

「伊賀市議会チャンネル」(Youtube) はこちら⇒
(伊賀市議会ホームページ内)



主な配信内容は次のとおりです。

伊賀市議会チャンネル (録画映像)	伊賀市議会チャンネル
令和3年4月1日から	令和3年2月以降の 本会議(定例会)・予算常任委員会
	令和3年6月以降の 総務常任委員会 教育民生常任委員会 産業建設常任委員会
	令和3年9月以降の 決算常任委員会・決算分科会



令和2年12月定例会以前の映像をご覧いただきたい場合は、議会事務局までお申し出ください。

議会広聴機能を強化します！

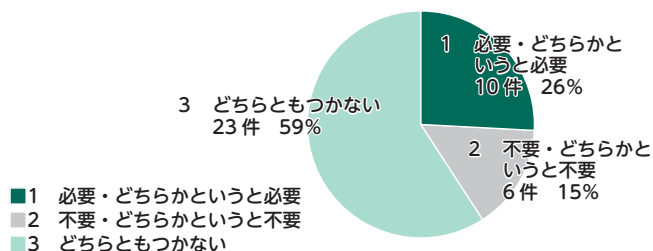
昨年11月、広報広聴委員が各住民自治協議会にタウンミーティングや過去に実施していた議会報告会など議会広聴機能に関するご意見を伺いました。

【いただいた主な意見】

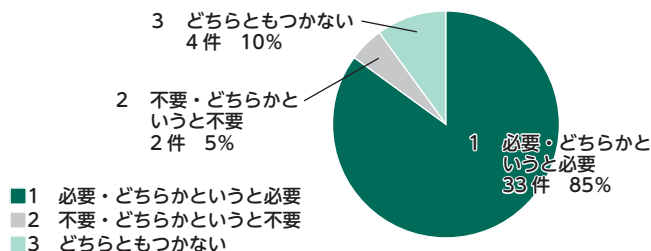
議会タウンミーティング	<ul style="list-style-type: none"> 支所などの単位で開催し、地域課題をテーマとしてほしい 開催の十分な周知をしてほしい
議会報告会	<ul style="list-style-type: none"> 地域の課題や意見を聞いてもらえ、直接議員と意見交換できる場である 地元議員も出席してもらいたい 議会からの審議、審査の報告はあまり必要ない

【議会タウンミーティング、議会報告会の必要性】

●議会タウンミーティングの必要性



●議会報告会の必要性



いただいた意見をもとに、広報広聴委員会で議論した結果、令和3年度からタウンミーティング、議会報告会ともに「市民の皆さんとの意見交換会」と位置付け、次のとおり行っていく予定です。これらのことを、今後、広報広聴委員が各住民自治協議会にあらためて説明に伺う予定です。

議会タウンミーティング	全市域を対象に、必要に応じ開催
議会報告会	「地域意見交換会」として名称・やり方等を見直し、住民自治協議会を対象に、希望に応じ年1回程度開催

議会図書室で「政務活動費収支報告書」を公開します

各議員より提出された令和2年度の収支報告書等の写しが閲覧できます。



公開の目的	政務活動費の使途の透明性を確保するとともに、広く市民の皆さんに議員の調査研究活動等を知っていただくため。
閲覧の方法	場所：議会図書室（市役所本庁舎5階） 時間：8時30分～17時15分（土・日・祝日、年末年始を除く。）
閲覧の対象となる文書	<ol style="list-style-type: none"> 収支報告書 行政視察報告書 研究研修報告書 政務活動費明細書 領収書又はこれに準ずる書類 その他添付書類
閲覧の開始時期	令和2年度分は 5月25日（火）から閲覧可能。
閲覧の注意事項等	<ol style="list-style-type: none"> 閲覧書類を閲覧場所の外へ持ち出すことはできません。 閲覧は無料ですが、コピーを希望される場合は、A3以下（白黒）一面につき10円が必要となります。 文書の記載内容に伊賀市情報公開条例に規定する非公開情報が含まれている場合は、その箇所のみマスキング（墨塗り）をしています。
その他	市議会ホームページでは、6月中旬に公開を予定しています。

広報広聴委員の紹介

伊賀市議会が新体制となり、広報広聴委員会も新たなメンバーとなりました



濱瀬 達雄 北山太加視 山下 典子
宮崎 栄樹 桃井 弘子 赤堀 久実 北森 徹
(委員長)

今年度より各住民自治協議会単位で「市民の皆さんと意見交換会」を実施し、多くの皆さんのご意見を聴かせていただきます。そして、情報発信である議会だよりを皆さんに身近に感じていただき、分かりやすく読みやすいと思ってもらえるように、委員会一同取り組んでまいります。

これからも開かれた議会をめざしてまいりますので、皆さんのご意見をお寄せください。

(広報広聴委員長 赤堀)

令和3年6月定例会日程 (予定)

6月7日(月)	本会議(開会)
14日(月)	本会議(一般質問)
15日(火)	本会議(一般質問)
16日(水)	本会議(一般質問)
17日(木)	本会議(一般質問)
18日(金)	予算・決算を除く各常任委員会
21日(月)	予算・決算を除く各常任委員会
22日(火)	予算常任委員会
28日(月)	閉会

- ・本会議と予算常任委員会は午前10時から始まります。
- ・その他の各常任委員会は開会日に決定します。
- ・定例会の日程は、変更になる場合があります。
- ・コロナ禍における傍聴に関する情報は、直近の市内での感染状況を踏まえ、随時「伊賀市議会ホームページ」でお知らせします。

会議の内容を閲覧できます

市議会本会議等の会議録は市議会ホームページや議会図書室(冊子)でご覧いただけます。

令和3年3月定例会の会議録は6月7日以降となります。なお、会議録が出来上がるまでの間は市議会ホームページで音声をお聴きいただけます。



ご感想をお寄せください

議会だよりや議会のテレビ放送をご覧になったご感想やご意見をお寄せください。

郵送 〒518-8501

伊賀市議会事務局「議会だより感想」宛

TEL 0595-22-9687 E-mail gikai@city.iga.lg.jp

FAX 0595-24-7901

ホームページ <http://www.city.iga.lg.jp>

※伊賀市議会だよりの点字版・録音版を貸出ししています。

希望される場合は、上記までお問い合わせください。



次号は8月1日です。

発行：伊賀市議会 編集：伊賀市議会広報広聴委員会